

令和4年度 支援教育実践研修D（肢体不自由に関する内容） 実施要項

- 1 目的 肢体不自由のある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。
- 2 対象 幼稚園、認定こども園、小・中学校、義務教育学校、高等学校及び支援学校の教員
募集人数 25名

3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	オンデマンド開催 9月21日（水） ～ 10月5日（水） 提出締切：10月19日（水）	肢体不自由のある子どもの理解及び 指導の実際 〔実践発表・講義〕	公立学校教員等 大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 所属校等
- 5 担当室 支援教育推進室
- 6 その他 研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

令和 4 年度 支援教育実践研修 D（肢体不自由に関する内容） シラバス

1 目的

肢体不自由のある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人ひとりの障がいの状態、教育的ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標															職に応じた指標		
	I			II			III			IV			V			支援学校 (学級)		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2	3
第4期																		
第3期										○	○							
第2期										○	○	○			○	○	○	○
第1期										○								
第0期																		

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	肢体不自由のある子どもの理解及び指導の実際	<p>肢体不自由の特性について学ぶ。</p> <p>「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づいた指導と支援の実際を学ぶ。</p>	<p>肢体不自由の特性について理解を深め、指導と支援の方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成と活用の意義について理解を深める。 実践発表を通して、自立活動の指導について学び、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と支援の工夫について知る。 	